

公演間近！若きピアニスト外山啓介、東海地方に初登場

外山啓介 & セントラル愛知 「ビューティフル・クラシック」

繊細で色彩豊かな音色を奏でる若手ピアニスト「外山啓介」と創立25周年、質の高い演奏がさえる「セントラル愛知交響楽団」のコラボレーション。お聴き逃しなく！

【演奏曲目】 指揮：角田鋼亮

- モーツァルト／「フィガロの結婚」より序曲
- ヴォーンウィリアムス／グリーンズリースーパースファンタジー
- ヴィヴァルディ／四季より「春」(ヴァイオリン・ソロ／高橋律也)
- ドヴォルザーク／ユーモレスク
- ショパン／ピアノ協奏曲第1番

と き 3月30日(日)午後3時開演

ところ サンホール

入 場 料 一般2,000円 学生1,000円 ※当日500円増

※未就学児の入場はできません。

全席自由



©Shigeto Imura

大好評発売中！

チケット取扱窓口

文化プラザ窓口・チケットぴあ(☎0570-02-9999 Pコード:277-341)
各支所・市内郵便局・多治見市文化会館・瑞浪市総合文化センター

図書館だより

読書の小径

こみち

No.59

市図書館 ☎ 55 1253



「源氏物語」

後一条天皇誕生の50日の祝いの宴席で、藤原公任が、「あなかしこ、このわたりに、わかむらさきやさぶらぶ」(失礼ですが、この辺りに若紫の君はいらっしゃいますか)と紫式部に声を掛けたというエピソードが「紫式部日記」に記されており、「源氏物語」が、この時には少なくとも若紫巻まで書かれていたことを知ることができます。この出来事が寛弘5年、西暦で言えば1008年のことなので、今年が「源氏物語」が記録の上で確認されたときから、1千年になります。

「源氏物語」を季語という視点から読み解いたのが、西村和子『季語で読む源氏物語』です。「源氏物語は季節すなわち春秋の物語である」と言えよう。物語の筋を縦糸とするならば、季節描写は横糸となつて背景を織り成している。それが出来事に豊かな彩りと深い奥行きとを与え、季節の風や雨や雪が、人々の心のうちを象徴することにもなる。ここに鏤められた季節の言葉に、のちの俳諧の季題、現代の俳句の季語の源を見る思いがする。「はじめ(よみ)」

一方、日本固有の美意識の源流として称揚されてきた「源氏物語」を、東アジア交易圏とのかかわりから読み解く野心的な試みが、『源氏物語と東アジア世界』です。

4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

※ が休館日です

図書館の	火～金曜日	10:00～19:00
開館時間	土・日曜日、祝・休	10:00～17:00



取材した番組の集大成が『よみがえる源氏物語絵巻』です。復元された19枚の絵巻を、見開きで堪能することができます。

※図書館のご利用は無料です。